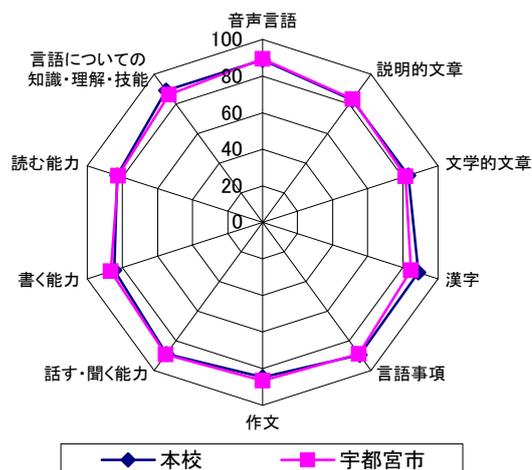


宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	88.8	89.3
	説明的文章	82.8	83.3
	文学的文章	83.2	81.6
	漢字	88.9	84.7
	言語事項	89.5	88.9
	作文	84.6	86.6
観点別	話す・聞く能力	88.8	89.3
	書く能力	84.6	86.6
	読む能力	83.0	82.4
	言語についての知識・理解・技能	89.1	86.4



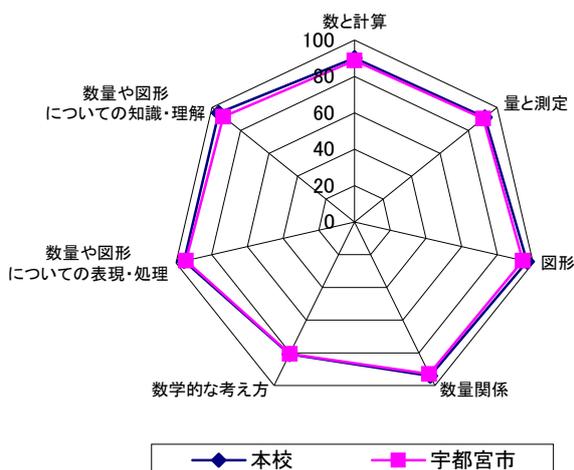
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (88.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市平均をやや下回っている。 出題内容では話し合いの聞き取り問題で、「話の内容の聞き取り」の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業で、話を聞く時には、話し手の意図は何かを意識して聞くようにさせる。普段の生活でも、他の人の言うことをしっかり聞くように意識づけていく。
説明的文章 (82.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市平均をやや下回っている。 説明文の読み取り問題で、「筆者の意見の根拠」の正答率が低い。 段落と段落の関係の正答率は高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の学習では、形式段落ごとに大事だと思う文や言葉、文末表現から要点をまとめ、文章全体の構成を考えるようにさせる。そして、筆者の主張をまとめるようにさせる。
文学的文章 (83.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市平均を上回っている。 出題内容「登場人物の心情」は正答率が市平均を下回った。 出題内容「語句の補充」は市平均を大きく上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に読み進めて、情景や登場人物の心情を読み取るようにさせる。 読書に親しむ習慣作りを進め、文学的な文章に親しませる時間を作るようにする。
漢字 (88.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 第6学年の漢字の読みがわずかに市平均を下回った。 第5・6学年の漢字の読み、第5学年の漢字の読み書き、第6学年の漢字の書きの正答率が市平均を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で新出漢字をきちんと指導する。その後、家庭学習において、漢字練習や熟語の意味調べ、短文作り等を行い、いろいろな方法で漢字に親しませ、数多く練習させさらに定着を図るようにする。
言語事項 (89.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 「ことわざ」、「漢字辞典の引き方」は正答率が市平均を上回った。 「同訓異字」、「敬語」の正答率が市平均を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字(国語)辞典の使い方に習熟させ、不明な漢字(言葉)はいつでも調べられるようにさせる。 敬語については、日常生活から正しく使えるように指導し、習熟させる。
作文 (84.6%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市平均を下回った。 初めのあいさつ、本文についてはよく書けていたが、終わりのあいさつや後付けが書けなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた手紙の構成を理解させるとともに、書き方の習熟を図る。 短作文を書く機会を多く設け、書く力を高めるようにさせる。

宇都宮市立宝木小学校第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	90.2	88.7
	量と測定	91.4	90.4
	図形	96.5	94.3
	数量関係	94.0	93.0
観点別	数学的な考え方	80.8	80.6
	数量や図形についての表現・処理	95.4	94.3
	数量や図形についての知識・理解	95.3	92.1



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (90.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 異分母分数の加法, 異分母分数の減法, 倍数, 最大公約数に関する設問の正答率は市平均を大きく上回った。 分数の乗法, 分数の乗法の文章題に関する設問の正答率は市平均を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> かけ算九九, 暗算による割り算といった, 基礎的な計算の積み重ねが不十分な児童には, それぞれの意味を早く理解させるように復習させながら指導したい。また, ドリル学習で一層習熟を図りたい。 分数の乗法の文章題の立式において, 約3割の児童が除法の立式をした。文章問題に使われる数値が整数, 分数, 小数のどれであっても, 問題文を読み解く手立てを普段の授業で説明しながら, 正しく立式できる力をつけていきたい。
量と測定 (91.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 直方体の体積, 体積, 速さに関する設問の正答率は市平均を下回った。 単位量あたりの大きさに関する設問の正答率は市平均を大きく上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 直方体の体積の求め方, 速さを求める問題については, 考え方をよく理解させる。また, 公式を覚えさせ, 正しく使えるように繰り返し練習問題を解くなどして習熟を図りたい。
図形 (96.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 角柱に関する設問の正答率が市平均を下回ったが, 円柱に関する設問の正答率は市平均を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 作図をしたり展開図を組み立てたりといった実際の作業を通して理解を図る。また, 練習問題を解くことによりさらに深く理解させ, 習熟を図る。
数量関係 (94.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 平均に関する設問の正答率が市平均を下回った。 文字を使った立式, 文字の値, 並べ方に関する設問の正答率は市平均を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均の考え方をよく理解させ, 正しく立式できるようにする。また, 簡単な計算でも余白に補助計算をして答えを求めるような学習訓練を積み重ねる。